

先住職、禪博和尚の十三年忌法要を、旧年の十二月二十五日午後四時から、いとなみました。ふつう、年忌法要は午前中にするもの。なぜ、午前かというと、亡き方へお昼ご飯をお供えるのが、年忌法要の意味だから。
しかし、どうして、朝食でもなく夕食でもなく、昼食かというと、長くなるから、またの機会にして、年忌法要の原則をやぶり、午後四時からやった理由について書きます。

ルール破りを言いわけするのではなくて、やってみたら良かったから、書きます。これを自画自讃、あるいは手前味噌というのでしょうか。さて、お集まりいただいたのは、近在の和尚さまと檀家総代さま、それに寺族の総勢二十名ならず。いったいこれまで、どのくらいの方を、先住職の法要におよびしてきたのだろうか。

十二年前の本葬には、数百名のかたに御焼香いただき、一年忌にお呼びしたのは、八十名。三年忌が六十名で、七年忌は四十名、といった具合に、行事をかさねるごとに少なくなっています。

これは、当然のことです。先住職、あるいは松岩寺との縁の深さは、人それぞれですから、それぞれの行事にふさわしい人をお呼びしていれば、人数は減ってきます。でも、「なんで、呼んでくれない」という方もおられるでしょう

春の彼岸法要がおわったら、チェロ de デュオ

白鳥
ニューシネマパラダイス
シチリエヌ
上を向いて歩こう
見上げてごらん夜の星を
他（予定）



田中 香帆 (たなか かほ)

群馬県太田市出身。小学校3年でチェロを始める。国立音楽大学演奏・創作学科卒業。併せてソリストコース修了。コース修了演奏会出演。イカール国際ミュージックキャンプで金子鈴太郎、ドミトリー・フェイギンのレッスンを受講。雑誌『サラサーテ』の取材でウェールズ弦楽四奏団のレッスンを受講。これまでにチェロを三戸正秀、藤森亮一、桑田歩に、室内楽を漆原啓子、青木高志に師事。現在、昭和音楽大学研究生。宮地楽器音楽教室講師。

花島 之彦 (はなしま ゆきひこ)

群馬県太田市出身。8歳よりチェロを始める。国立音楽大学を卒業。
国立音楽大学大学院オペラ2018「Cosi fan tutte」にて通奏低音を務める。同年、弦楽四重奏で大阪国際コンクール室内楽部門入選。チェロを三戸正秀、関根順子の各氏に、室内楽を漆原啓子、永峰高志、青木高志の各氏に師事。現在、同大学ディプロマコース在籍中。宮地楽器音楽教室講師。



宿忌(しゅくき)前日法要で抹茶をたておそなえしている様子

し、「なんで、呼ばれるのよ」。という方もおられたらうから難しい。

実際、一年忌を過ぎた頃まで、どこかで聞きつけて、香料を送ってきてくださる、和尚さまがたがおられました。そうした方へ密葬や本葬、一年忌のご案内をしなかった、私のミスです。それは、ご容赦ください。なんていう、余談はおいておいて、十三年忌です。

ずいぶん前から、どういうふうにしようかと迷っていました。迷っているうちに、お盆もきて、秋のお彼岸もすぎて、十月。もう、制限時間いっぱいです。行事に参列していただきたいのだったら、早めにお招きするのが礼儀というもの。寺と寺のおつきあいだったら、半年前、一年前にお知らせする場合がありますから、三ヶ月前というのは、ぎりぎりです。

ぎりぎりになって、やっと決心がつかしました。お呼びするのは、ごくごく近い和尚さまがたと、役員さまがただけ。

なにしろ、先住和尚の命日は、十二月二十六日だから、年の暮れに皆さんをお呼びしてはご迷惑だからといって、日時を少しばかり早めても年末は年末に変わりはない。そこで、良い考えがうかびました。

禅僧の年忌法要というのは、三度の儀式をします。まず、前日の夕方に、お茶と薬湯をおそなえする儀式をします。宿忌(しゅくき)といいます。「宿」の字には、「とどまる」という意味があります。前日にとどまって、故人をしのぶわけです。身近なことを探せば、「宿直」なんて熟語があります。そして、翌朝にはお粥をそなえる献粥(けんしゅく)をして、お昼近くになって、お昼ご飯(斎座(さいざいざ)をおそなえする儀式をします。半斎(はんさい)といえます。三度の儀式でもっとも正式なのは半斎です。一年忌から七年忌までは半斎の法要へみなさんをご案内していたのですが、それでは、朝から昼までの長い時間を拘束してしまつて、年末にもうしわけない。

というわけで、お呼びするのは夕方四時からの宿忌だけ。小一時間ほどの法要をすませて、お弁当を用意して、一緒にめしあがる方は、どうぞ。ご多忙の方は、おもちかえりください。というおもてなし。ついでに言つと、年忌法要の後で食事するのは、故人へお供えしたお下がりをいただくので、宴会をするわけではありません。

翌日の朝と昼の行事は、遠方から来て、宿泊した二人の和尚さまと現住職がいたしました。迷って少しばかりルールを破りましたが、ゆつたりと法要をすませることができました。

「伝統とは決して踏襲ではなく」。陶芸の樂直入師のことばです。勉強しました。